

事務事業実績測定調査

事務事業名称	栄養改善指導事業						
測定年度	2020 (R2) 年度		部	健康福祉部	課	保健所保健医療課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4	
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち					
	施策目標	6. 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち					
	実行計画名	6-1. 保健医療制度の充実					

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業		
事業期間	2014 (H26) 年度	年度	~		年度まで		
根拠法令等	健康増進法						
関係補助金名称				サンセット			
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	給食施設を利用する者					
	サブターゲット	給食施設の設置者、管理者					
	ターゲットが抱える課題	給食施設の種類により、給食を通じた健康づくり活動が十分でない場合がある。					
	ターゲットが抱える課題	給食による健康づくりが推進されていない場合がある。					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	提供される給食や、事業者が発信する食育活動により、給食施設を利用する者がよい食生活を築き、よい健康状態を保つ。						
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・特定給食施設設置者からの各種届出の受理 ・特定給食施設管理者及び給食関係者等に栄養改善の見地から必要な指導を行い、給食内容の向上を図るとともに、喫食者に対しても給食を通じた健康づくりを推進する。 ・誇大表示についての相談指導。 						

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						栄養改善の見地から必要な指導を行う。				特定給食施設設置者から各種届出の受理する。			
指標設定	指標説明					研修会等の実施回数				受理に係る執行率			
	指標種類	単位				単位 回				単位 %			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					2	2	2	2	100	100	100	100
	実績					0				100			
	達成度					0%				100%			
分析					新型コロナウイルス感染症の感染拡大により未実施。				目標通り実施することができた。				
ロジックモデル②						必要に応じて事業者に指導を行う。				誇大表示についての相談を受ける。			
指標設定②	指標説明					必要時の指導率				相談に係る執行率			
	指標種類	単位				単位 %				単位 %			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100	100	100	100	100	100	100	100
	実績					100				100			
	達成度					100%				100%			
分析					目標通り実施することができた。				目標通り実施することができた。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.80
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	11,131	11,224	6,380	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	11,131	11,224	6,380	
	物件費計	644	715	272	531	51%
	歳出計	11,775	11,939	6,652		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	11,775	11,939	272	531	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、研修会等のイベントが開催できなかったが、その他の取り組みについては適正に執行することができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、適正な事務処理に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	衛生統計事業										
測定年度	2020(R2)年度			部	健康福祉部			課	保健所保健医療課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2014(H26)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	人口動態調査令、医療法施行令				
関係補助金名称			サンセット		~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	厚生労働省が実施する国民生活基礎調査、社会保障・人口問題基本調査、医師・歯科医師・薬剤師調査、医療施設静態調査等について、厚生労働省から割り当てられた対象地区の住民。			
	サブターゲット	厚生労働省から割り当てられた地区以外の住民。			
	ターゲットが抱える課題	公衆衛生行政の企画と実施上の指針を得るための基礎資料のデータを収集する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公衆衛生行政の向上を図るための基礎資料を収集するとともに、公衆衛生に関する市民の意識が高まっている状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省が実施する国民生活基礎調査、社会保障・人口問題基本調査、医師・歯科医師・薬剤師調査、医療施設静態調査等、各種厚生統計調査の実施に係る事務を行う。 厚生労働省より割り当てられた対象地区に対して、調査員を派遣し、戸別訪問等により調査を行う。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						各種厚生統計調査が完了する。				厚生労働省より割り当てられた対象地区に対して、調査員を派遣し、戸別訪問等により調査を行う。			
指標設定	指標説明					国民生活基礎調査における回答率 【算出式:回答世帯数/対象世帯数×100】				国民生活基礎調査における対象世帯数			
	指標種類	単位				単位 %				単位 世帯			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100	100	100	100	250	250	400	250
	実績					0				0			
	達成度					0%				0%			
	分析					R2は新型コロナウイルス感染症感染防止のため調査が中止された。				R2は新型コロナウイルス感染症感染防止のため調査が中止された。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人員費	正職員、再任用、任期付	3,180	3,207	3,190	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	512	651	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
	人員費計	3,692	3,858	3,190		
	物件費計	1,257	682	591	1,424	42%
	歳出計	4,949	4,540	3,781		
歳入	国庫支出金	6,930	6,760	5,878	9,125	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	6,930	6,760	5,878	9,125	
	一般財源	▲ 1,981	▲ 2,220	▲ 5,287	▲ 7,701	

5. 総括的分析

総括的分析	令和2年度は新型コロナウイルス感染症のため、国民生活基礎調査等が中止となった。その他の定例的な統計調査については、円滑に執行することができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、適正な事務処理に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	実習生受入に関する事務											
測定年度	2020(R2)年度			部	健康福祉部			課	保健所保健医療課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち										
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち										
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2014(H26)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	地域保健法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	臨床研修医、医師、保健師、看護師、管理栄養士、歯科衛生士および精神保健福祉士等の実習生が学ぶ施設を利用する市民
	サブターゲット	臨床研修医、医師、保健師、看護師、管理栄養士、歯科衛生士および精神保健福祉士等の実習生
	ターゲットが抱える課題	講義で学んだ公衆衛生行政の知識や技術等の実際を学ぶ機会がない。
	ターゲットが抱える課題	公衆衛生行政の担い手が不足することで、安定したサービスが受けられない。

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	実習を通して知識や技術を向上させ、将来の公衆衛生行政の担い手として活躍する。
---------------------------	--

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 施設からの依頼による臨床研修医、医師、保健師、看護師、管理栄養士、歯科衛生士及び精神保健福祉士等の実習を受け入れる。(ただし、保健師及び管理栄養士については、大阪府で一元的に依頼を受け、府下の保健所に振り分ける) 契約の締結、受け入れ料の請求等の事務を行う。 施設と調整し、実習の目的に沿ったプログラムを作成する。 実習生が、保健所(保健企画課・保健衛生課・保健予防課・保健センター)の業務を実地で経験することで、所属の施設で学んだ公衆衛生に関する知識の理解を深め、技術の向上を図れるよう指導を行う。
------	---

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)										
	実習生が所属の施設で学んだ公衆衛生に関する知識の理解を深め、技術の向上を図れる。	実習の目的に沿ったプログラムを実施する。	施設からの依頼による臨床研修医、医師、保健師、看護師、管理栄養士、歯科衛生士及び精神保健福祉士等の実習を受け入れる。										
指標設定	指標説明	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)									
	実習生が公衆衛生に関する知識の理解が深まったと感じている割合	プログラム実施対象人数	実習受け入れ率										
		単位	%	単位	人	単位	%						
	指標種類	増加することが良いとされる指標											
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	100	100	100	100	67	67	67	67	100	100	100	100
実績	100				68				100				
達成度	100%				101%				100%				
分析	目標通り実施することができた。				目標通り実施することができた。				目標通り実施することができた。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	4,771	7,215	3,190		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	4,771	7,215	3,190		
	物件費計	77	199	146	256	57%	
	歳出計	4,848	7,414	3,336			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	785	760	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	177	141		
	歳入計	785	760	177	141		
一般財源		4,063	6,654	▲ 31	115		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響で例年と異なる取り扱いを要する場面もあったが、概ね目標通りに実施することができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、適正な事務処理に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	地域保健対策推進事業												
測定年度	2020 (R2) 年度				部	健康福祉部				課	保健所保健医療課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち										
	施策目標		6. 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち										
	実行計画名		6-2. 健康づくりの推進										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业		区分	一般事務事業		
事業期間	2014 (H26) 年度		年度	~	年度まで			
根拠法令等	地域保健法、健康増進法							
関係補助金名称				サンセット	~			
関係附属機関名称								
事業対象	メインターゲット	関係機関に係る市民及び在学・在職者						
	サブターゲット	関係機関(訪問看護ステーション連絡会、市立中学校・市内高等学校等、市三師会・病院、地域活動栄養士会、市内企業、北河内圏域における病院・医院・歯科診療所・薬局等)						
	ターゲットが抱える課題	関係機関等との連携(情報の共有、保健医療資源の相互活用、保健事業の共同実施、会議の開催、活動する団体等への協力・支援等)の充実						
	ターゲットが抱える課題							
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	地域組織・団体・医療機関等における関係者が連携し、市民の生涯を通じた健康づくりを支援する。							
事業概要	<p>地域の組織・団体、医療機関等との連携を総合的に展開するため、関係者が情報の共有化を図り、それぞれが有する保健医療資源の相互活用、また、保健事業の共同実施等により、連携体制の構築を図るための会議開催や、地域で活動する団体等への協力・支援を行う。また、大阪府保健医療計画の推進に係る取り組みに参画し、地域の医療体制の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーション連絡会議事務局 ・公立、私立の高校の保健主事、養護教諭及び保健所関係者との連絡会議事務局 ・地域保健医療問題懇談会事務局 ・地域活動栄養士会支援業務 ・地域医療連携推進事業 ・大阪府医療計画推進事業 							

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		市民が安心して医療を受けられる体制づくりにつながる。				地域で活動する団体等への協力・支援が行われる。				地域で活動する組織・団体、医療機関等との連携を行う。			
指標説明		共同して行った事業や会議の満足度				団体と協力して開催した講演会やイベントの数				市が主催する会議の開催件数			
指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標設定	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	100	100	100	100	4	4	4	4	21	21	21	21
実績		100				0				5			
達成度		100%				0%				24%			
分析		目標通り実施することができた。				新型コロナウイルス感染症の感染拡大により未実施。				新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、目標の件数を下回った。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.87
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	18,287	18,439	6,938		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	18,287	18,439	6,938		
	物件費計	439	1,516	1,082	2,882	38%	
	歳出計	18,726	19,955	8,020			
歳入	国庫支出金	0	329	0	190		
	府支出金	172	242	14	360		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	172	571	14	550		
一般財源		18,554	19,384	1,068	2,332		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、講演会等のイベントが開催できず、会議等も思うように開催できなかったが、関係機関等と適宜情報共有を行う等、連携体制の確保に努めた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、適正な事務処理に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	保健所施設維持管理事業						
測定年度	2020 (R2) 年度		部	健康福祉部	課	保健所保健医療課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4	
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち					
	施策目標	6. 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち					
	実行計画名						

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務		
事業期間	2014 (H26) 年度	年度	~		年度まで		
根拠法令等	決裁						
関係補助金名称				サンセット			
関係附属機関名称							

事業対象	メインターゲット	保健所に来所する市民・事業者等
	サブターゲット	保健所に勤務する職員等
	ターゲットが抱える課題	保健所に来所する市民・事業者等が、安全で快適に利用できるような必要な施設保全や保守点検等を実施する必要がある。
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	保健所に来所する市民・事業者が、安全で快適に利用できている。
---------------------------	--------------------------------

事業概要	保健所業務を滞りなく遂行するために必要な施設の維持・管理を行う。 <業務概要>・光熱水費等、施設維持上必要な経費の支払い・施設維持上必要な業務の委託(自動扉保守点検委託・機械警備委託・清掃業務委託・消防用設備保守点検委託・電気工作物保安管理委託・冷暖房設備保守点検委託・健康管理システム保守委託・一般廃棄物処理委託・保健所剪定及び草刈作業委託・ガスヒューポン保守点検委託・許認可システム保守委託(Java有償対応含む)・電話機器内線設定委託)
------	--

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						保健所施設が適正に維持管理されている。				必要な保守点検等を実施する。			
指標設定	指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				保守点検実施回数			
	指標種類	単位				単位 %以内				単位 回			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100	100	100	100	10	10	10	10
	実績					110				25			
	達成度					90%				250%			
分析					雨漏り、水漏れ等の発生により、想定外の修繕を要した。				目標通り実施することができた。				

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,590	1,603	1,595	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	1,590	1,603	1,595	
	物件費計	24,593	13,594	45,768	50,786	90%
	歳出計	26,183	15,197	47,363		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	26,200	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	26,200	
一般財源		26,183	15,197	45,768	24,586	

5. 総括的分析

総括的分析	想定外の修繕を要したが、通常の委託業務等については、適正に事務を執行できた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、適正な事務処理に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	保健所総括事業						
測定年度	2020 (R2) 年度		部	健康福祉部	課	保健所保健医療課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4	
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち					
	施策目標	6. 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち					
	実行計画名						

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務		
事業期間	2014 (H26) 年度		年度	~	年度まで		
根拠法令等	地域保健法						
関係補助金名称				サンセット	~		
関係附属機関名称	保健所運営協議会						
事業対象	メインターゲット	保健所業務に従事する職員					
	サブターゲット						
	ターゲットが抱える課題	地域保健法に基づく、地域住民の健康保持及び増進を図ることを目的とした保健所の事業が行えなくなる。					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	円滑な事業実施により、地域住民の健康保持及び増進が図られている。						
事業概要	地域保健法に基づき、地域住民の健康の保持及び増進を図ることを目的に、保健所を設置し事業を実施する。 ・保健所の設置、企画、運営、報告 ・保健所における企画、調整、指導及び事業の実施 ・地域住民の健康の保持及び増進のための事業の実施 ・保健所施設の手数料等の徴収 ・保健所事業等について厚生労働大臣へ報告						

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						円滑な事業実施が図られる。				保健所における企画、調整を実施する。			
指標設定	指標説明					円滑な事業実施が行うことが出来ている保健所の割合 【算出式: 幹部会及び運営協議会の開催実績/開催回数×100】				保健所運営に係る幹部会 (年12回) 及び運営協議会 (年1回) の開催回数			
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100	100	100	100	13	13	13	13
	実績					92.30				12			
	達成度					92%				92%			
分析					幹部会は予定通り年12回の開催 運営協議会 (年1回開催予定) は新型コロナウイルス感染症感染拡大により実施せず				幹部会は予定通り年12回の開催 運営協議会 (年1回開催予定) は新型コロナウイルス感染症感染拡大により実施せず				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.80
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.57
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	19,480	9,620	22,330		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	2,017	114	1,549		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	21,497	9,734	23,879		
	物件費計	1,759	2,816	151,097	148,927	101%	
歳出計		23,256	12,550	174,976			
歳入	国庫支出金	0	0	54,129	58,629		
	府支出金	0	0	65,848	65,849		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	5	4		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	10	0	1		
	歳入計	0	10	119,982	124,483		
一般財源		23,256	12,540	31,115	24,444		

5. 総括的分析

総括的分析	<p>条例に基づき設置している保健所運営協議会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、開催を見送った。 その他、保健所の運営に係る各種手続きについては、滞りなく執行した。 なお、当課における新型コロナウイルス感染症対策に係る取り組み(コールセンターの委託等)は、健康危機管理の総括に関することとして本事業に含めている。</p>
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、適正な事務処理に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	自殺予防対策事業												
測定年度	2020 (R2) 年度				部	健康福祉部				課	保健所保健医療課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち										
	施策目標		6. 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち										
	実行計画名		6-1. 保健医療制度の充実										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2009 (H21) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	自殺対策基本法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称	自殺対策計画審議会				
事業対象	メインターゲット	過労、生活困窮、育児や介護疲れ、いじめや孤立などの様々な社会的要因により危機に陥った人			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	悩みを抱えたときやストレスを感じたときに、助けを求めることへのためらいを感じる。			
	ターゲットが抱える課題	悩みを抱えたときやストレスを感じたときに、どこに相談すればよいのかわからない。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	誰もが自殺に追い込まれることなく、安心して生きることができるように、社会全体で包括的な支援を行い、市民一人ひとりが心身ともに健やかに暮らせる。				
事業概要	①電話相談員の養成研修及び研修を修了した相談員による相談専用電話「ひらかた いのちのホットライン」を実施する。 ②市民及び関係機関・団体の職員を対象に、ゲートキーパー養成研修を実施する。 ③自殺予防に係る情報提供と啓発を推進する。 ④関係機関及び庁内関係課の連携を図るため、ネットワーク会議を開催する。 ⑤「枚方市いのち支える行動計画(自殺対策計画)」を推進する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		誰もが自殺に追い込まれることなく、安心して生きることができる。				悩みを抱えたときやストレスを感じたときに相談する場がある。				「ひらかた いのちのホットライン」を実施する。			
指標設定	指標説明	自殺死亡率 【算出式: 自殺死亡数 / 人口 × 10万】				「ひらかた いのちのホットライン」を知っている人の割合。				啓発グッズの配布など「ひらかた いのちのホットライン」の周知を実施する回数。			
		単位		%		単位		%		単位		回	
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	—	—	—	11.0以下	50以上	53以上	57以上	60以上	4	4	4	4
	実績	13.20								2			
	達成度									50%			
分析					R2は調査未実施(計画策定年度に調査を実施する。次回はR5)				新型コロナウイルス感染症の影響により実施回数が想定を下回った。				
ロジックモデル②		誰もが自殺に追い込まれることなく、安心して生きることができる。				研修に市民等が参加し、ゲートキーパーが養成される。				ゲートキーパー養成研修を実施する。			
指標設定②	指標説明	自殺死亡率 【算出式: 自殺死亡数 / 人口 × 10万】				ゲートキーパー養成研修における理解度。受講後「理解できた」と回答した割合。				ゲートキーパー養成研修を受講した人数。			
		単位		%		単位		%		単位		人	
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	—	—	—	11.0以下	50	60	65	70以上	200	200	200	200
	実績	13.20				0				0			
	達成度					0%				0%			
分析					新型コロナウイルス感染症の感染拡大により未実施。				新型コロナウイルス感染症の感染拡大により未実施。				

ロジックモデル③	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	誰もが自殺に追い込まれることなく、安心して 生きることができる。	イベント等に市民が参加する。	自殺予防に係る情報提供と啓発を行う。
指標設定 ③	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	指標説明	自殺死亡率 【算出式:自殺死亡数/人口×10万】	自殺予防に係る講演会等の参加者数。
		単位	%
	指標種類	減少することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標 (見込み)	— — — 11.0以下	90 90 90 90
	実績	13.20	0
	達成度		0%
分析		新型コロナウイルス感染症の感染拡大により 未実施。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により 未実施。

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.60
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	11,927	8,017	4,785		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	295	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	12,222	8,017	4,785		
	物件費計	4,892	3,168	3,439	4,162	83%	
	歳出計	17,114	11,185	8,224			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	1,496	1,572	1,662	1,982		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	1,496	1,572	1,662	1,982		
一般財源		15,618	9,613	1,777	2,180		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、講演会等のイベントが開催できなかったが、その他の取り組みについては適正に執行することができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、適正な事務処理に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	精神保健福祉事業													
測定年度	2020 (R2) 年度				部	健康福祉部				課	保健所保健医療課			
市長公約との関係	所信表明			市政運営方針	R2	R3			R4					
総合計画体系	基本目標		2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち											
	施策目標		6. 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち											
	実行計画名		6-1. 保健医療制度の充実											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2014 (H26) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」第46条、第47条「保健所及び市町村における精神保健福祉業務について」(平成12年3月31日障第251号厚生省大臣官房障害保健福祉部長通知)「保健所及び市町村における精神保健福祉業務運営要領」				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	様々な心の悩みや病気を抱えた市民とその家族
	サブターゲット	様々な心の悩みや病気を抱えた市民の家族
	ターゲットが抱える課題	心の悩みを解決、ストレスを軽減することに支援が必要。
	ターゲットが抱える課題	心の病気を抱えているが、医療を受けることに支援が必要。

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	様々な心の悩みやストレスを軽減でき、適切な支援を受けることができる。
---------------------------	------------------------------------

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ① ところの健康相談(精神科医・臨床心理士・精神保健福祉士・保健師等による電話、来庁、訪問等による相談、専用ダイヤルを含む) ② 一般人からの診察及び保護の申請、警察官からの通報に基づく措置診察に関する業務 ③ 市民および関係機関職員等を対象とした、ところの健康づくりや精神保健福祉に関する知識の普及・啓発のための講演会や研修会の実施および、モバイルメンタルチェックシステム「ところの体温計」の実施 ④ 障害者本人や家族等を対象とした、精神障害に関する正しい知識の習得や対応方法等を学ぶための教室の開催 ⑤ 精神科病院実地指導 ⑥ 自殺対策に係る自殺未遂者支援事業の実施 ⑦ 心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律(医療観察法)に基づく会議への出席、訪問等の実施 ⑧ 精神保健福祉法で定められた報告等の受理および大阪府等への進達 ⑨ 自動車税減免に関する書類交付事務 ⑩ 健康医療都市ひらかたコンソーシアム連携事業「ところの健康増進部会」における精神科と一般科の連携に向けた取り組みの実施
------	---

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		様々な心の悩みやストレスを軽減でき、適切な支援を受けることができる。				様々な心の悩みやストレスを相談する場がある。				ところの健康相談を実施する。			
指標説明		悩みやストレスを感じた時、支援を求めることにためらいを感じる人の割合。				本人や家族、関係機関等からのところの健康相談件数。				ところの健康相談の周知を実施した回数。			
指標設定	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	—	—	—	30以下	4,900	4,900	4,900	4,900	2	2	2	2
	実績	0				4,224				2			
達成度						86%				100%			
分析		R2は調査未実施(計画策定年度に調査を実施する。次回はR5)				目標には達しなかったが、想定範囲の実績値。(新型コロナウイルス感染症の影響で保健所への電話が繋がりにくかったという背景があるかもしれない)				目標通り実施することができた。			

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		様々な心の悩みやストレスを軽減でき、適切な支援を受けることができる。				講演会等に市民が参加する。				心の健康づくりや精神保健福祉に関する知識の普及・啓発のための講演会や研修会を実施する。			
指標設定②	指標説明	悩みやストレスを感じた時、支援を求めることにためらいを感じる人の割合。				講演会等の参加者数。				講演会や研修会の実施回数。			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	—	—	—	30以下	130	130	130	130	3	3	3	3
	実績	0				0				0			
	達成度					0%				0%			
	分析	R2は調査未実施(計画策定年度に調査を実施する。次回はR5)				新型コロナウイルス感染症の感染拡大により未実施。				新型コロナウイルス感染症の感染拡大により未実施。			
ロジックモデル③		様々な心の悩みやストレスを軽減でき、適切な支援を受けることができる。				対象者が参加する。				障害者本人や家族等を対象とした、精神障害に関する正しい知識の習得や対応方法等を学ぶための教室を開催する。			
指標設定③	指標説明	悩みやストレスを感じた時、支援を求めることにためらいを感じる人の割合。				家族教室の参加者のべ数。				家族教室の開催件数。			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	—	—	—	30以下	300	300	300	300	30	30	30	30
	実績	0				0				0			
	達成度					0%				0%			
	分析	R2は調査未実施(計画策定年度に調査を実施する。次回はR5)				新型コロナウイルス感染症の感染拡大により未実施。				新型コロナウイルス感染症の感染拡大により未実施。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.45
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	2.13
特別職非常勤	1.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	40,789	34,473	19,539		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	7,583	5,688	7,440		
		特別職非常勤	—	—	25		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	48,372	40,161	27,004		
	物件費計	3,515	3,361	2,469	3,292	75%	
	歳出計	51,887	43,522	29,473			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	734	880	799	849		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	734	880	799	849		
一般財源		51,153	42,642	1,670	2,443		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、講演会等のイベントが開催できなかったが、その他の取り組みについては適正に執行することができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、適正な事務処理に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	医事事業										
測定年度	2020 (R2) 年度			部	健康福祉部			課	保健所保健医療課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	8. 安心して適切な医療が受けられるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2014 (H26) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	医療法、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律、柔道整復師法、歯科技工士法、死体解剖保存法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	本市内の医療機関等において、医療等を受ける者。			
	サブターゲット	本市内の病院、診療所、助産所、あん摩マッサージ指圧、はり、きゆう、柔道整復業務を行う施術所、歯科技工所			
	ターゲットが抱える課題	地域のかかりつけ医から高度な医療を提供できる公的病院までが連携し、住み慣れた地域で必要な医療が受けられる地域医療の充実を図るなど、市民の医療ニーズに適切に対応できる医療体制が構築される必要がある。			
	ターゲットが抱える課題	誰もが日頃から健康づくりに取り組めるよう、健康増進に関する情報提供や相談体制を充実する必要がある。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	地域のかかりつけ医から高度な医療を提供できる公的病院までが連携し、住み慣れた地域で必要な医療が受けられる地域医療の充実を図るなど、市民の医療ニーズに適切に対応できる医療体制が構築されるとともに、誰もが日頃から健康づくりに取り組めるよう、健康増進に関する情報提供や相談体制が充実している。				
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 病院、診療所及び助産所を開設又は変更、休止、廃止及び再開する場合において、開設許可等を行う。その際、病院、診療所及び助産所の構造設備等を確認(確認)する。 2. あん摩マッサージ指圧、はり、きゆう又は柔道整復業務を行う施術所を開設又は変更、休止、廃止及び再開する場合において、施術所開設届等を受理する。その際、施術者の資格や施術所の構造設備等を確認する。また、施術所を開設せずに、施術者が出張による施術業務を行う場合は、出張施術業務開始届等を受理する。 3. 歯科技工所を開設又は変更、休止、廃止及び再開する場合において、歯科技工所開設届等を受理する。その際、歯科技工士の資格や歯科技工所の構造設備等を確認する。 4. 医療法第25条に基づき、病院及び診療所の立入検査を行う。 5. 患者、家族等からの苦情・心配や相談等及び医療機関からの相談等を行う。 6. 救急病院等を定める省令に基づき、関係機関の意見をまとめ、大阪府へ進達する。 7. 死体解剖保存法に基づき、死体解剖等に関する事務を行う。 8. 歯科衛生士に対する保健所長の指示 9. 高度医療の提供を目的とする診療所の開設の許可 				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						病院、診療所及び助産所の開設許可等を行う。				病院、診療所及び助産所の開設、廃止申請を受理する。			
指標説明						各種申請に対する対応率				病院、診療所及び助産所の開設、廃止申請等の受理件数			
指標設定	指標種類	単位				単位 %				単位 件			
	指標数値	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100	100	100	100	400	400	400	400
	実績					100				435			
達成度					100%				109%				
分析					目標通り実施することができた。				目標通り実施することができた。				

ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)										
		あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう又は柔道整復業務を行う施術所の構造設備等が基準に適合していることを確認する。	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう又は柔道整復業務を行う施術所の開設、廃止等申請を受理する。										
指標設定②	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)										
	指標説明	各種申請に対する対応率	施術所の開設、変更、廃止等申請受理件数										
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標										
	指標数値	単位	単位										
	指標数値	単位	%										
	指標数値	単位	件										
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	指標数値	目標 (見込み)					100	100	100	100	160	160	160
指標数値	実績					100				173			
達成度						100%				108%			
分析						目標通り実施することができた。				目標通り実施することができた。			

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	1.26
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.73
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人員費	正職員、再任用、任期付	12,165	14,431	10,049	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	3,488	739	4,140	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
	人員費計	15,653	15,170	14,189		
	物件費計	24,934	25,962	26,161	30,954	85%
歳出計		40,587	41,132	40,350		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	108	93	84	120	
	受益者負担(使用料・手数料)	1,558	1,319	1,510	1,700	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	1,666	1,412	1,594	1,820	
一般財源		38,921	39,720	24,567	29,134	

5. 総括的分析

総括的分析	適正に事務処理を執行した。
-------	---------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、適正な事務処理に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	衛生検査所指導事業										
測定年度	2020(R2)年度			部	健康福祉部			課	保健所保健医療課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	8.安心して適切な医療が受けられるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2014(H26)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	臨床検査技師等に関する法律				
関係補助金名称				サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	臨床検査技師法等に関する法律に基づき登録される衛生検査所。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	市内の衛生検査所に係る登録申請、変更届出書等の受理、登録証明書等の交付、及び適正な検査業務執行のための立入調査が、迅速かつ正確に行われる必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市内に衛生検査所が登録された場合に、衛生検査所に係る登録申請、変更届出書等の受理、登録証明書等の交付、及び適正な検査業務執行のための立入調査が迅速かつ正確に行われることにより、市内の衛生検査所が適正に検査業務を執行できる体制が確保されている。				
事業概要	臨床検査技師等に関する法律に基づき、衛生検査所の登録申請、登録の変更、登録証明書の書換交付、登録申請書再交付申請書等の受理、適正な検査業務執行のための立入調査 衛生検査所の登録申請、登録の変更、登録証明書の交付及び書換交付、登録申請書再交付申請書を受領し、必要に応じて立入調査を実施する。また、変更事項が生じた場合には、変更届出書を受領し、必要に応じて立入調査を実施する。衛生検査所の適正な検査業務執行ため、立入調査を実施し、指導を行う。現在、市内に衛生検査所は登録されておらず申請等の実績はない。市内に登録された場合に備え、衛生検査所の登録がある府市が開催する衛生検査所精度管理合同会議に出席する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	必要に応じて検査業務執行のための立入調査を行う。				インプット (活動)	衛生検査所の登録申請、登録の変更、登録証明書の書換交付、登録申請書再交付申請書等の受理を行う。			
	指標説明	設置された衛生検査所の立入検査実施率 【算出式: 立入検査実施件数/市内衛生検査所数×100】				衛生検査所に係る申請等の受理件数									
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標									
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)					100	100	100	100	0	0	0	1		
	実績					0				0					
	達成度					0%									
分析					本市には衛生検査所がない				R2の衛生検査所に係る申請等は発生しなかった						

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.01
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	80	80	80	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	80	80	80	
	物件費計	470	274	156	348	45%
	歳出計	550	354	236		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	550	354	156	348	

5. 総括的分析

総括的分析	R2時点で、本市には衛生検査所がないが、申請等があった場合には、遺漏なく適正な手続きができるよう、情報収集に努めた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、適正な事務処理に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	免許申請等経由事務										
測定年度	2020(R2)年度			部	健康福祉部			課	保健所保健医療課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	8.安心して適切な医療が受けられるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2014(H26)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	医師法、歯科医師法、視能訓練士法、放射線技師法、薬剤師法、臨床検査技師等に関する法律、理学療法士及び作業療法士法、保健師助産師看護師法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	各法律に関する免許申請を行う者。			
	サブターゲット	各免許を所持する者を雇用する医療機関。			
	ターゲットが抱える課題	各法律に基づく免許申請等の事務が行えなくなる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	各法律に関する免許申請の受付、審査、府への進達、および、各種免許証の交付が迅速で正確に処理され、対象者の利便性が確保されている。				
事業概要	各免許申請の経由 免許申請に係る書類の受付、審査、府知事への提出及び免許証の交付を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		大阪府への進達を行う。				大阪府への進達を行う。				各免許の申請等を受理する。			
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	指標説明	各免許申請の大阪府への進達率				各免許申請の大阪府への進達率				各免許申請の受理件数			
		単位				単位 %				単位 件			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100	100	100	100	700	700	700	700
	実績					100				847			
達成度					100%				121%				
分析					目標通り実施することができた。				目標通り実施することができた。				

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	1.07
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.23
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人員費	正職員、再任用、任期付	15,982	8,819	8,533		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	333	146	518		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
	人員費計	16,315	8,965	9,051			
	物件費計	607	274	156	348	45%	
	歳出計	16,922	9,239	9,207			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	369	148	354	410		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	369	148	354	410		
一般財源		16,553	9,091	▲ 198	▲ 62		

5. 総括的分析

総括的分析	適正に事務処理を執行した。
-------	---------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、適正な事務処理に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	薬事事業						
測定年度	2020 (R2) 年度		部	健康福祉部	課	保健所保健医療課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4	
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち					
	施策目標	8. 安心して適切な医療が受けられるまち					
	実行計画名						

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2014 (H26) 年度	年度	~		年度まで
根拠法令等	1. 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(医薬品医療機器等法) 2. 毒物及び劇物取締法				
関係補助金名称			サンセット		~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	薬局、医薬品販売業(店舗販売業)、医療機器販売業・貸与業、毒物劇物販売業の営業者及びその従業者、毒物劇物業務上取扱者等			
	サブターゲット	医薬品等を使用する者または使用する可能性がある者			
	ターゲットが抱える課題	コンプライアンス意識の低さ。			
	ターゲットが抱える課題	医薬品等の適正使用や薬物乱用防止に対する興味・関心が薄い市民がいる。			
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	「医薬品医療機器等法」及び「毒物及び劇物取締法」の遵守による保健衛生上の危害の防止と、安全かつ適正な医薬品・医療機器、毒物劇物等の供給、使用。				
事業概要	1. 医薬品医療機器等法の規定に基づき、医薬品等の適正な供給の確保および適正な調剤がなされるよう、薬局、医薬品販売業(店舗販売業)及び医療機器販売業等に係る許認可等業務及び監視指導を行い、医薬品等による保健衛生上の危害を防止するとともに適正化を図る。 2. 毒物及び劇物取締法に基づき、毒物劇物販売業、毒物劇物業務上取扱者の登録・届出受付業務並びに毒物劇物取扱施設に対する監視指導等を行い、毒物劇物による危害発生防止に努める。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
ロジックモデル						監視指導を行う。				薬局、医薬品販売業(店舗販売業)及び医療機器販売業等に係る許認可等業務を実施する。			
指標設定		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
指標設定	指標説明	医薬品医療機器等法に基づく立入業態数(同法に基づく許可業態数の約半数を指標として設定)				医薬品医療機器等法に基づく申請・届出の処理対応率							
	指標種類	単位				単位 件				単位 %			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					200	200	200	200	100	100	100	100
	実績					72				100			
	達成度					36%				100%			
分析					新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、必要最低限の実施としたため、目標の件数を下回った。				目標通り実施することができた。				
ロジックモデル②		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
ロジックモデル②						監視指導を行う。				毒物劇物販売業、毒物劇物業務上取扱者の登録・届出を受理する。			
指標設定②		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
指標設定②	指標説明	毒物及び劇物取締法に基づく立入業態数(同法に基づく登録業態数の約半数を指標として設定)				毒物及び劇物取締法に基づく申請・届出の処理対応率							
	指標種類	単位				単位 件				単位 %			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					40	40	40	40	100	100	100	100
	実績					4				100			
	達成度					10%				100%			
分析					新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、必要最低限の実施としたため、目標の件数を下回った。				目標通り実施することができた。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	3.60
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	24,648	31,186	28,710		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	24,648	31,186	28,710		
	物件費計	1,042	289	159	376	42%	
	歳出計	25,690	31,475	28,869			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	1,939	1,604	1,074	991		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	1,939	1,604	1,074	991		
一般財源		23,751	29,871	▲ 915	▲ 615		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、立入検査については必要最低限の実施としたが、その他の事務については適正に執行することができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、適正な事務処理に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	保健医療課運営事務										
測定年度	2020(R2)年度			部	健康福祉部			課	保健所保健医療課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	9.施策体系外									
	施策目標	99.施策体系外									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務	
事業期間	不明		年度	~	年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	保健所保健医療課職員				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	課の運営に係る事務を適正かつ円滑に実施する必要がある。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営に係る事務を適正かつ円滑に実施している。					
事業概要	課の運営業務					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明												
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)											
	実績												
	達成度												
分析													

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.38
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	14,312	8,017	11,006		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	14,312	8,017	11,006		
	物件費計	1,104	1,063	1,950	633	308%	
	歳出計	15,416	9,080	12,956			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		15,416	9,080	1,950	633		

5. 総括的分析

総括的分析	適正に事務処理を執行した。(事業費中【報償費】は聴覚障害のある職員の会議等参加に係る手話通訳者への報償費)
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、適正な事務処理に努める。